

コミュニティスクールだより

令和5年度2号

氷室のかぜ

そお小学校学校運営協議会
(事務局 そお小学校)
電話 85-0207

三世代ふれあいフェスタに参加して

(末南) 神尾 透

11月11日(土)そお小学校では4年ぶりに児童の皆さんを中心に、保護者、祖父母をはじめ地域の皆さんが相集い、三世代ふれあいフェスタが開催されました。フェスタは児童による楽器演奏や合唱で構成される《音楽の部》で始まりました。保護者や地域の皆さんの前で多少緊張気味ではあるものの、元気いっぱいに演じる子供達の姿は微笑ましく、心むむ思いがしました。

次はお待ちかねの《餅つき・昼食》です。餅つきでは、大人の手を借りて餅つきに挑戦する低学年、自分一人で杵を振る高学年、一人でも多くの子達に杵つき餅を体験させようと苦勞する大人、とにもかくにも和気あいあい、賑やかなうちに予定された餅はつきあがり、皆でつきたて餅に舌鼓を打ちました。

フェスタの最後は高学年を中心に保護者、地域の皆さんが一緒になっての《遊び集会》です。子供の頃に返って子供たちと一緒にゲームに興じる保護者や地域の皆さん、まさに三世代のふれあいがそこにありました。

こうしたふれあいフェスタは、世代間を超えて相互に理解し合える良い機会であると共に、子供たちにとってはかけがえのない懐かしい思い出作りにつながるのだと確信した1日でした。



もちつき

(末東) 山内 眞壽江

空は青空良い天気。三世代もちつきが始まります。前日は執行部役員と3年~6年の児童と一緒に1斗2升(18kg)のもち米を洗い水に浸す、それから石臼、かまどを定位置に据えキネ・はがま・蒸し器・薪の準備も整ったところで、予め用意していた餅米で試しに1臼ついてみて明日に備えたとのことでした。当日朝、かまどに火を焚き湯を沸かし



石臼を温めつつ、これからつきあがった餅をとりあげる台、机上に布と餅とり粉、石臼のそばには手水、白衣の給食着姿の児童の皆さん集合整列。もちつき開始。昭和・平成・令和三世代老若男女杵でつく人返す人。順番に杵をふる児童、つきあがった餅を手でギュッとして握り切る人、丸める人。大きい餅・小さい餅・長い餅・丸い餅。みんな違ってみんないい。そしてそのお餅は牛汁・砂糖醤油で一味同心、美味しくいただきごちそうさまでした。

祖生西小学校時代から継続のこの餅つき、安全に楽しく続けると。念じあげます。



三世代ふれあいフェスタと焼き芋

(新宮) 小川 栄太郎

芋掘り体験が1, 2年生とそお保育園の園児が合同で10月31日に新宮の藤中さんの畑で行われました。これはフジ興(藤中伸宏代表)さんのご厚意で春に子供達と園児が植えつけ、フジ興さんはもとより、学校ボランティア・地域ボランティアの皆さんと一緒に育ててきたもので、大小たくさんのお芋が収穫できました。このお芋を11月11日の『三世代ふれあいフェスタ』で焼き芋にして、皆さんに食べていただこうと準備に取りかかりました。

学校運営協議会の皆さんのご協力で、フェスタの前日児童と一緒に200個の芋を洗い、その芋を濡れ新聞とアルミホイルで包む等の諸準備を行いました。当日、芋焼きにバーベキュー用セットを10組と焼き炭を調達しましたが、初めてなので、時間内にうまく焼けるかとても心配でした。

火の強弱から、焼け具合の確認と時間を気にしての作業でしたが、昼食に美味しい焼き芋を届けることができました。

児童の良い思い出になった事に関係者一同喜んでます。フジ興の藤中さん、焼き芋スタッフの皆さん有難うございました。



芋ほり

(末北) 藤中 伸宏

昨年古民家を紹介され、一目惚れして購入いたしました。この古民家には農地が多く付いてきまして、農地を増やしたかった私には願っても無い事でした。農地を無駄なく活用する為にどうするか考えていた時に、ふと自分が小学校の頃学校でサツマイモを植えて芋掘りをしたことを思い出しました。何となく楽しかった気がして、今どきの子供達って芋掘りとかするのかなあ？との思いでご近所の樋口さんに相談させていただきました。凄く賛成しても

らえて、小学校と保育園に連絡を取っていただき、トントン拍子で苗植えと芋掘りの話がまとまりました。

農地の一角を子供達の為に使えて、楽しんで貰えるならそれも有かなと思い提供させて頂きました。実際、凄く楽しそうに芋掘りをしている子供達の姿を見て、良かった！間違っていなかった！と確信しました。この先どこまで続ける事が出来るか分かりませんが、出来る限り頑張ってみようと思います。



アサギマダラ飛来してくれての感動

以前、そお小学校より「祖生をアサギマダラ（旅する蝶）の里山として広げていきたい！」とのお話があり、フジバカマの苗木を植えました。去年は花も咲かせ飛来を待っていましたが、姿は見れず。個人的に見たくて山陽小野田まで行き初めてアサギマダラを見ました。

令和5年秋10月3日フジバカマが満開の10時、綺麗な羽を広げて初めての飛来確認。小学校にも個人宅にも確認され楽しませてもらった秋となりました。来年も飛来を期待しています。



ようこそ先輩! in そお

2学期に2名の先輩を迎えお話や舞踊、マジックを見せていただきました。

母校で語る、学びとコミュニティの力

(西光寺) 田坂 祐輔

先日、私は母校・そお小学校で職業について話す機会をいただきました。私の仕事はWebデザインと日本舞踊です。学校教育は基礎知識を身につけ、社会で役立つ土台となります。数学や理科は理論的思考を、国語はコミュニケーション能力を育みます。学びは問題解決能力や協力の精神も育む事を伝えたいと考えました。



社会生活をして行くには自分の得意な点を活かし、難しい部分は他の人の力を借りることが重要です。これにより、相互の尊重や感謝の気持ちが生まれ、チームとしての生産性も向上します。インターネットが普及した現代でも、直接会ってコミュニケーションを取る価値は大きいと思います。学校だけでなく祖生地区のコミュニティがお互いを支え合い、繋がりを保ち続けることを願っています。今回の経験で私自身が考える機会をいただき、気づきがあったので感謝の気持ちでいっぱいです。この場を作ってくださった関係者の方、聞いてくれた生徒のみなさんありがとうございました。

自分のルーツ

(今岡) JONIO (保田 純)

11月27日にそお小学校でマジックをさせていただきました。

私は祖生西小学校に1年生から2年生の頃に通っていました。3年生からは広島に引っ越し、中学2年生の時に周東中学校に戻りました。

今は地元を離れ、日本全国や世界各国でマジックをしています。初めて訪れる国ごとに、自分のルーツを考えさせられます。今の私は、31年間のどの瞬間が欠けても成り立ちません。

幼少期を過ごした祖生で、鼻の中を蜂に刺されたり、雲梯の上で足を踏み外し前歯を強打して歯抜けで入学式に出たり、自転車で橋から落ちたり、川で溺れたりしました。直接今の自分に関係ないと思われる幼少期のさまざまな出来事が、今の自分を形成する重要な要素です。

世界を飛び回る中で感じるのは、「田舎は面白い!」ということです。都会は世界中どこに行っても同じです。チェーン店やブランド店が並んでいます。しかし田舎には独自の文化や風習があります。私は大自然の中で生まれ育ったことを誇りに思っています。コロナ禍でも仕事でアメリカに行く機会がありましたが、一度もコロナにかかりませんでした。風邪やインフルエンザにも滅多にかかりません。これは自然のきれいな空気を吸い、大自然の中で走り回って様々な免疫を付けたからだだと思います。

大自然の中、祖生に生まれたことに感謝しながら、JONIO は今日も世界を飛び回ります。



《編集後記》

2学期はたくさんの学校行事に参加することができました。おかげで、子ども達の笑顔もたくさんみられ、パワーもいただきました。「氷室のかぜ」第2号も無事に発刊することができました。学校行事に参加してくださった皆さん、原稿を寄せてくださったみなさんありがとうございました。

3学期はどんなふれあいができるか楽しみです。
よいお年をお迎えください。

氷室のかぜ 編集部一同